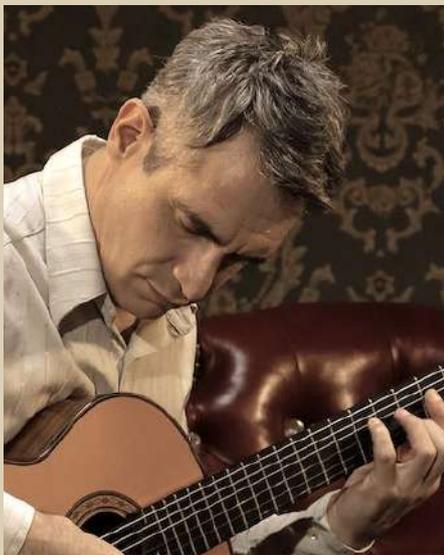




4人の男 ラテン音楽の祭典



《演奏》

木下尊惇 (うた・チャランゴ・ギター)

レオナルド・ブラーボ (ギター)

松下隆二 (ギター)

池田慎司 (ギター)

～～ 福岡公演 ～～

2023年 7月16日 (日)

14:00開演 (13:30開場)

千早なみきスクエア

音楽・演劇練習場《大練習室》

福岡市東区千早4丁目21-45 / 千早駅西側

全席自由 4,000円 学生2,000円 (当日500円増)

【御予約・お問合せ】

Tel: 092-733-6240 (松下)

mail : ryuji.matsushita@classic-guitar.org

主催：カルガーダ

～～ 北九州公演 ～～

2023年 7月17日 (月・祝)

14:00開演 (13:30開場)

旧古河鉱業 若松ビル

北九州市若松区本町1丁目11-18

全席自由 4,000円 学生2,000円 (当日500円増)

【御予約・お問合せ】

Tel: 093-922-3857 (池田)

mail : shinji.guitarra@gmail.com

主催：K・I 企画

木下 尊惇 (キノシタ タカアツ)

82年、チャランゴ奏者エルネスト・カブールの招きでボリビアに渡る。カブール・トリオのギタリストなどを経て、86年よりボリビアのグループ「ルス・デル・アンデ」のリーダーとなり、明確なコンセプトと独自の音作りで、現在に至るまでボリビア・フォルクローレ界に多大な影響を与え続けている。カブールと共に映画「橋のない川」の音楽を制作。NHK「美しき日本～百の風景」でテーマ音楽、「世界の名峰～グレートサミッツ」へ楽曲の提供など、各種映像音楽を手がける。日本では7枚のソロ・アルバムを発表。「ボリビアを知るための73章」（明石書店）、「中南米の音楽」（東京堂出版）に執筆。08年より丹沢山麓の耕作放棄地の棚田で稲作を始める。17年ラパス市文化庁より、長年の文化功労を称えた認定表彰を贈られる。18年よりフランス、サガルナガ・アソシエーションのフォルクローレ特別講師。ボリビアを代表する音楽家、ギタリストとして、多くのボリビア音楽家たちからリスペクトされている。



松下 隆二 (マツシタ リュウジ)

福岡市出身。7才よりクラシック・ギターを始める。いくつかの国内ギターコンクール優勝ののち渡仏し、パリ・エコール・ノルマル音楽院にて研鑽を積む。帰国後はソロ・リサイタルのほか編曲に基づくさまざまな楽器とのアンサンブルに力を入れる。これまでテレビ、ラジオ出演や数々のレコーディングを経験する。2012年より唐人町ギター教室（福岡市中央区）を主宰し、個人レッスンおよび生徒によるアンサンブル活動にも力を入れている。これまでに故坂本一比古、故A.ボンセ、P.マルケス各氏に師事。故ホセ・ルイス・ゴンサレス、L.ブローウェル、P.ロメロ、福田進一各氏のマスタークラスを受講。



Leonardo Bravo (レオナルド ブラーボ)

アルゼンチン生まれ。国立ロサリオ大学芸術学部音楽学科卒業後、アルゼンチンを始め南米、北米、ヨーロッパでコンサートを行う。ギタリスト、作曲家として数々の賞を受賞。03年来日、04年に日本デビューリサイタル、翌05年ギターソロのコンサートツアーで好評を博し、以後活動の拠点を日本に移した。09年、米国マーシャル大学よりジョン・エドワード特別芸術賞を受賞。10年レオナルド・ブラーボタンゴ楽団を結成。CDではソロ、二重の他、指揮、ディレクターとしても多くのCD制作に携わり高い評価を得る。13年タンゴ名曲編曲集を現代ギター社より出版。レパートリーはクラシックを中心に広い分野に渡る、とりわけ祖国の音楽であるタンゴ、フォルクローレに造詣が深く、豊かな音楽性と美音は多くの聴衆を魅了している。

4人の男



池田 慎司 (イケダ シンジ)

北九州生まれ。9才より堀幸悦に師事。1995年スペインへ渡り、ホセ・ルイス・ゴンサレスに師事。同時期にアポロ音楽院でパーカッションを学ぶ。国内外のコンクールに入賞し、1998年帰国。2004年九州交響楽団とアランフェス協奏曲を共演。2020年東京で行われた日本ギター連盟主催のコンサートにおいて、ギター11本による「ブラジル風バッハ第4番」全楽章のアレンジを手がけ好評を得る。現在はスペインギターフェスタのメンバーとしても活動を始め、2023年3月には同グループでスペインツアーを成功させる。2020年よりギター教室とコンサートサロンを併用したongaku Goyaを主宰。